

## 廃食用油を再利用したリサイクル石鹸を ライクキッズの認可保育園 165 施設で導入開始 ～毎日の手洗いで食育・環境問題を体感し、考えられる子どもを育てる～

保育・人材・介護の事業を展開するライク株式会社（東京本社：東京都渋谷区、代表取締役会長兼社長 グループ CEO：岡本 泰彦、以下 ライク）の子会社で、子育て支援サービス事業を営むライクキッズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡本 拓岳、以下 ライクキッズ）は、廃食用油を再利用した、手肌にやさしいリサイクル石鹸の導入を 2024 年 4 月より 165 ヶ所の認可保育園にて開始しました。



ライクキッズでは運営する保育施設において約 11,000 名のお子さまをお預かりしていることから（2024 年 1 月現在）、次の世代にバトンを渡し続けていけるよう持続可能な社会を実現することに社会的責任を感じています。特に近年では SDGs の高まりのもと「食育」に力を入れ、「育てる・つくる・食べる・知る」をテーマに、味覚がつけられる重要な時期である乳幼児期の食環境づくりや、食材について学び触れる体験を通して食への興味関心を促進しています。これらの活動の一環として、食事を作る中で廃棄されていた油を、自分たちが使用する石鹸へと再利用させることで、より身近で、子どもたちが毎日「食育」「環境問題」を体感できるリサイクル石鹸の導入を検討していました。本格導入に先駆け、2023 年より試験的に数園での利用を開始し、1 年間の試用期間を経て、廃食用油特有の匂いが一切気にならず、子どもたちが環境について考えるきっかけになればという思いから、この度、165 ヶ所の認可保育園にて導入することとなりました。

### ■リサイクル石鹸が出来るまでのフロー

- ① 使用済食用油・廃油回収
  - ② 廃油を中間処理施設でろ過・脱水
  - ③ 油脂メーカーにより化粧品原料となる高純度な脂肪酸に再生
  - ④ 手肌に使える高品質なリサイクル石鹸が完成
- ※廃油生成脂肪酸約 400g からリサイクル石鹸 10kg が精製されます。



■リサイクル石鹼が叶える3つのこと

- パーム由来の脂肪酸原材料を削減することで持続可能な循環型社会の構築に貢献
- 安全な石鹼という界面活性剤で海や川の生態系を保護することが可能
- 合成の界面活性剤ではない“石鹼”は安全にやさしく手肌を守ることもできる

合成でない界面活性剤を使用した石鹼は、将来の子どもたちのためにも環境にもとてもやさしく、環境に対する負担を減らすために、手肌にも優しく安全なリサイクル石鹼を活用します。

今後、ライク株式会社の子会社で、介護関連サービス事業を営むライクケア株式会社でも廃食用油石鹼の導入を予定しています。これらの活動を通し、ライクグループ全体として持続可能な社会作りの実現に取り組んでまいります。

■会社概要

商号：ライクキッズ株式会社

代表者：代表取締役社長 岡本 拓岳

所在地：〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号 渋谷マークシティ ウェスト17階

設立：1989年12月

事業内容：認可保育園である「にじいろ保育園」をはじめ、学童クラブ・児童館等、様々な形態の保育施設を運営する「公的保育サービス」、事業所内保育施設(企業・病院・大学等)の運営を受託する「受託保育サービス」を提供。

資本金：50百万円

URL：<https://www.like-kd.co.jp/academy/>